

SORA

web magazine 2019.mar. vol.105

FIJI



生きる伝説のようなダイバー「ジャン・ミッシェル・クストー」 ダイビング歴73年のスーパーダイバーとの時間

MAP
CLICK!

Photo & Text : Itaru Takaku

世界で初めてシリンダーによるダイビングをし、映画や著書の「沈黙の海」で世界中の人に海中世界を紹介したジャック・イブ・クストー氏の息子。若さの秘訣は海に浸ることと赤ワイン。

その海に対する思いや情熱は海洋保護と次世代へのバトン。



tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2019
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



S 驚き Surprise



Fiji

フィジー
スーパーダイバーとの時間



「ジャン・ミッシェル・クストー」 ダイビング歴73年のスーパーダイバー。

スキューバダイビングを確立した人で「沈黙の世界」で初めて世の中に海中世界を紹介したジャック・イブ・クストー氏の息子さん。数々のドキュメンタリー番組を制作し、海洋保護に関してアメリカの歴代大統領とも会談している。偉大な父の影響で7歳の時からダイビングを始めた。現在80歳なのでダイビング歴は驚異の73年！更に驚くべきはその元気さとバイタリティです。波のある時化た海で平然とエントリーし優雅に水中を泳ぐ様はとても80歳には見えません。文字通り世界中の海を巡り深海や絶海の島々を見てきたクストー氏は海中でも終始ご機嫌。ウツボに手を振り、カニの抜け殻を見て笑い、ヒトデを拾ってはその生命の不思議さに心底驚いた表情を見せてくれました。それでも一番の驚きは陸での歩きスマホ！もはやおじいちゃんのことではありません！

健康の秘訣は？の質問には「DIVE DIVE DIVE & DIVE!! それに赤ワイン！」だそうです。



tsumi-shima
ダイバーの島 津島

We
World explorer



S 驚き Surprise

驚異的な回復を見せる、 サンゴとソフトコーラルの海底楽園！

海が時化て内湾ばかりで潜っていましたが3日目の最終日にはリゾートからやや沖合の DENNNY'S DREAD ROCKS と呼ばれるリーフまでなんとか行くことができました。スリーピナクルズという3つの根を回るダイビングです。それぞれの根頭はサンゴ礁でビッシリと覆われていて、その下の壁には一面オレンジ色のソフトコーラルが咲き乱れ、そして海底はどこまでも続くサンゴとソフトコーラル(ウミキノコ系)！ これが2016年のハリケーンで壊滅的なダメージを受けた

場所だとは思えません。しかしよく観察するとひっくり返った岩や逆さまになったサンゴからも、新たに、あるいは強引にサンゴが育っている姿が見つかりました。全てのサンゴ達はもっとも活発な成長期にあるようで非常に生命力溢れていました。ただサンゴの上を泳ぐだけでなんて幸せだったことでしょうか。

Fiji

フィジー
スーパーダイバーとの時間



O 海 cean

深海からの 栄養が湧き出る

ナメナエリア、これがこの辺りで最も華やかなポイントです。深海から湧き上がる栄養分につられてあらゆる魚が集まってきます。サメもマンタもバラクーダもギンガメアジもいて、グランドセントラルステーション(ニューヨークにある混雑した駅)なんてポイントもあるほどです！

今回は生憎の海況でそのエリアには行けなかったのですが、初フィジーの私はサンゴの豊かさに驚き、見慣れない魚に目移りしてと、慌ただしい！特にフィジー周辺にのみ生息する固有種探しは格別でした。

特に嬉しかったのは真っ黄色のギンボ2種に会えたことでしょうか。一方のフォークテールブレニーは毒の牙を持つ危ない魚で、もう一方のカナリーブレニーは無毒で前者に擬態した魚です。これの面白いところは日本にも全く同じような魚(色合いだけ違う)がいることです。オウゴンニジギンボとイナセギンボの関係ですね。あとは脱兎のごとく泳ぐフィジアンラビットフィッシュやフィジーニモなんて呼ばれることもあるオレンジフィン・アネモネフィッシュの美しいブルーラインに魅了されたり、シチセンチョウチョウオに似たドット&ダッシュバタフライフィッシュやハーフ&ハーフ・クロミスには名前を聞いた時点でやられてましたね(笑)。

ヤマブキベラは各所で卵を世話していました。

フィジー版のホンソメワケベラはやはり掃除屋さんでいつも忙しそうにしていました。



フィジーラビットフィッシュ



オレンジフィン・アネモネフィッシュ



オレンジフィン・アネモネフィッシュ



フォークテールブレニー



カナリーブレニー



オビシヨウジ



アオバスズメダイ



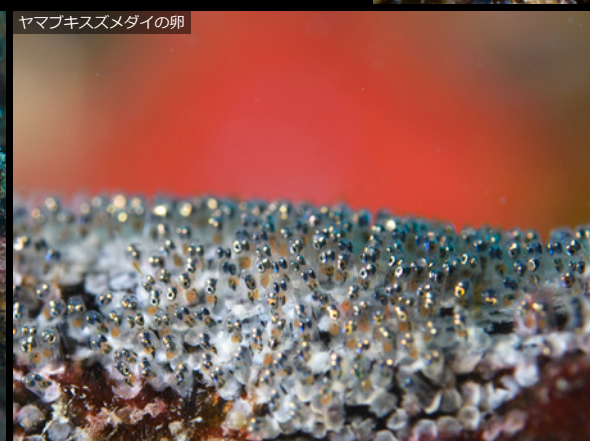
フィジークラウンブレニー



クロメカネズメダイ



卵を保護するヤマブキズメダイ



ヤマブキズメダイの卵



ドットアンドダッシュバタフライフィッシュ



パシフィック・ハーフアンドハーフ・クロミス

O 起源 origine



アミチョウチョウウオ



コガネヤッコ



サウスシーデビル



シヨクスズメダイ



キンギョハナダイ(オス)



カンザシヤドカリの仲間



イボウミウシの仲間



インディアン・ダスクラス



セグロチョウチョウウオ



タルボッツデモイゼル



ヘラヤガラ



メガネベニハゼ



ホンソメワケベラ



ホホスジモチノウオ



ハナビラクマノミ



ニジハギ



ホワイチツブ

世界でもトップレベルの魚影

Fiji

フィジー
スーパーダイバーとの時間

Rロマンス Romance

星空にまでこだわった究極のリゾート

さざ波の音を聞きながらヤシの木々を見上げると、その奥には満点の星空！ 空高くにある南十字星はここが南半球であることを教えてくれました。JMCリゾートの環境に対する配慮は何も物質ではありません、満点の星空を心地よく眺めることができるように、街灯や室内の照明にも気を使っています。リゾートから伸びる桟橋の先で食べるディナーは、大切な人たちとの時間を、きっと忘れがたいひと時にしてくれることでしょう。

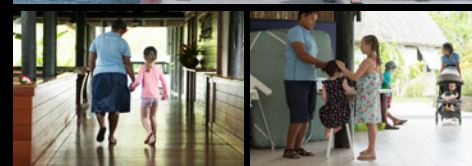
Fiji

フィジー
スーパーダイバーとの時間



子供も大人も自由！ 何をしても良いし、何もしなくても良い！

キッズクラブはこのリゾートの素晴らしいシステムです。夫婦でダイビングをしたいけど子供がいるから海外ではできない。そんな方達にとってこんなに素敵なことはありません。夫婦で潜っている間に子供達も海辺で遊んだり、異国の文化に触れて遊ぶことができます。子供を大勢のスタッフが見てくれるので遊びの幅はいくらでもあります。みんなでバイオリジストと一緒に海遊びも良いし、午後に1本だけ夫婦で潜るのも良い。とにかく思いのままに自由に過ごすことができます。贅沢な1日を過ごしてみましょう！



行動 Action

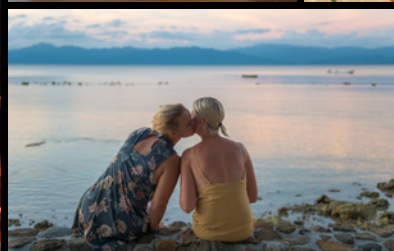


FIJI

フィジー
スーパーダイバーとの時間

「フィジータイム」

「フィジータイム」。これはフィジアン達のゆっくりとした時間感覚やおおらかさを表す言葉です。たとえ高級リゾートであろうとなんでであろうと、フィジータイムは存在するのです。ひとたびその時間軸に溶け込んでみると、こんなに気持ちの良いものはありません。取材で忙しい傍でもフィジータイムを味わわなくては人生の損とばかりに気を抜くところは抜いてみたりしていました。また忘れてはならないのが「カバア」と呼ばれる伝統的な儀式であり飲み物です。粉末になったショウガ科の植物の根っこを水に溶いたもので、見た目は泥水、味はなんだか痺れるだけで美味しくない！それでもこれを飲むとまったりとした気分になってきます。カバアには鎮静作用や酩酊感を引き起こすこともあるとか。飲酒で暴れる人はいてもカバアを飲んで暴れる人はいないようです。このカバアの文化こそがフィジアン達を大らかにし、フィジータイムの流れる国を作ったのだと思います。恐れずにフィジーのリズムに身を溶かしましょう！



唯一無二、 海への想いが 熱すぎるリゾート！

ジャン・ミッシェル・クストー・リゾートはただの高級リゾートではありません。クストー氏の体験してきた世界の海の驚きや海洋環境の保護に関する想いなどを、スライドショーを通して感じることができます。運良く本人がいれば直接話を聞けるし、そうでなくても常駐のバイオロジストがあまりにも熱くフィジーの海やサンゴ礁の重要性について語ってくれます。リゾートに到着してまず出されるウェルカムドリンクにはストローがありませんでした。海洋ゴミとして問題になっているプラスチック製品をほとんど使っていないのです。滞在期間中には随分と海の問題について考え、そして同行者たちと話し合いました。これも全てクストー氏の海への想いが飛び火したからに違いありません。



ストローのないウェルカムドリンク
紙でできたストロー



ケルブ（海藻）から作られてるコップや本

